

相模湾の方を向いたアンテナによる流星電波観測(神作哲夫)

福井の53.755MHzの流星観測用電波と、114.1MHzのVOR波を使用している。ビームが鋭くなるように素子を増やし、受信機は安価なSDR(Software Defined Radio)とPCを使用、受信した電波を表示するソフトとしてはWindowsでHROFFTを使用している。受信データを利用してもらえるようにネットに載せている。眼視やカメラと比べると検出が劣るので対策を考えている。最近、アンテナのSWR等を測定するベクトルネットワークアナライザーを安価で購入した。